

# マダニが媒介する感染症に注意しましょう！

## マダニとは？

マダニとは、食品等に発生するコナダニや衣類や寝具に発生するヒョウダニなど、家庭内に生息するダニとでは種類が異なります。

マダニ類は、固い外皮に覆われた比較的大型（吸血前で3～4mm）のダニで、主に森林や草地等の屋外に生息しており、市街地でも見られ、日本全国に分布しています。



フタトゲチマダニ 厚生労働省 HP より

マダニはどこにでもおるけん。咬まれんようになあ。



## 県内でマダニが媒介する主な感染症

疾患	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）	日本紅斑熱
症状等	マダニに咬まれて6日～2週間程度の潜伏期間を経て、主に原因不明の発熱、消化器症状（食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）が出現	マダニに咬まれて2～8日頃から頭痛、全身倦怠感、高熱などを伴って発症する。高熱とほぼ同時に紅色の斑丘疹が手足など末梢部から多発
発生地域	愛媛県を含む四国・中国・九州地方	愛媛県を含む日本各地

## マダニが媒介する感染症を予防するためには

マダニに**咬まれないようにすることが重要**です！

（特に、マダニの活動が盛んな春から秋にかけては注意が必要です。）

レジャー、農作業、庭仕事など野外で活動する際には、次の点に注意してください。

◎長袖、長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避け、袖先がぴったりとした、色の薄い長袖の服を着る！ダニがくっついたり、咬まれたりすることを予防できるだけでなく、くっついたダニを見つけやすくなります。

◎長靴を履くのも効果的！

◎動物に触った後は注意！ダニは家畜やペットの体にも寄生します。



## ダニに咬まれた場合



ダニを発見したら、ダニの体内や傷ついた皮膚からでる液体に病原体がいる可能性があるため、**直接手でダニを取ったり、つぶしたりしないようにしてください。**皮膚科など医療機関で処置しましょう。

体調の変化があれば、速やかに医療機関を受診しましょう。



感染症に関する情報は下記のところでご確認いただけます。

☆愛媛県感染症情報センター (<http://www.pref.ehime.jp/040hokenhukushi/140eikanken/kanjyo/index.htm>)